

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 38 | 今年の大雨で水害の被害があり、利用者全員がグループ会社の施設に避難されている。近くの大浦小学校は階段があり、避難所も2階であったため、車いすが移動できず避難先を変更している。その際に、利用者のADLが避難先の介護スタッフが分からないという事や、薬の持ち出しについてのルールが不明確なところがあった。 | 今回の避難を踏まえ、課題となった箇所を話し合った。又、ライフラインが使えない場合も想定し、それをBCPに追記、改定し、緊急時に安全に避難し生活できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部の立ち上げ(本部より) ・ライフラインについては、必要な備品の購入とシステムダウンや通信できない状況になった場合の対策を本部へ確認行い体制を整える。(紙の帳票使用等) ・備蓄の見直しと管理を行う。(トイレの凝固剤、ゴミ袋を追加) ・BCPの内容改善と追加修正(職員がいつでも見れる場所へ置く) ・薬の持ち出しについては、主治医と提携薬局へ災害時の処方について協力依頼 | 12ヶ月 |
| 2 | 39 | 事業所内で定期的に訓練を実施したり消防設備の点検が行われている。避難先の小学校では階段があり、避難が困難なことから、水害など垂直避難が出来ない場合など避難先を日頃から検討し、安全の確保を期待する。又、サーバーに接続できない場合など利用者や薬の状態など確認できるようにすることを期待する。 | 大雨で避難勧告があった際に避難する場所を何ヶ所か検討し、避難時に利用者の必要な情報を持ち出せる体制の構築する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部より指示された避難先へ移動 ・避難指示が出された時に使用する書類を一ヶ所にまとめておく(職員へ場所の周知) ①利用者情報一覧(ADLなど) ②職員連絡網(グループラインもあり) ③家族連絡先一覧 ④個別名札 ⑤施設内の人数把握表⇒対策本部へ提供 ⑥持ち出し物品チェック表(作成する) ①～⑤は作成済み | 6ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。